



株式会社スカイパーフェクト・コミュニケーションズの 業績予想の修正に関するお知らせ

スカパーJSAT株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：仁藤 雅夫）は、最近の業績動向などを踏まえ、100%子会社である株式会社スカイパーフェクト・コミュニケーションズ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：仁藤 雅夫）が2007年3月28日に公表した同社の2007年3月期の業績予想を、下記の通り修正しましたので、お知らせします。

記

1. 業績予想数値の修正

(1) 単体業績予想の修正

2007年3月期通期業績予想数値の修正（2006年4月1日～2007年3月31日）

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	76,000	8,500	2,000
今回修正予想（B）	76,000	9,000	2,400
増減額（B - A）	-	500	400
増減率（%）	-	5.9%	20.0%
（ご参考） 前期（2006年3月期）通期実績	74,377	3,261	3,480

（金額の単位：百万円）

(2) 連結業績予想の修正

2007年3月期連結通期業績予想数値の修正（2006年4月1日～2007年3月31日）

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	85,500	2,500	2,000
今回修正予想（B）	85,500	2,700	1,300
増減額（B - A）	-	200	700
増減率（%）	-	8.0%	-
（ご参考） 前期（2006年3月期）通期実績	82,329	106	357

（金額の単位：百万円）

2. 修正の理由

単体、連結とも営業収益はほぼ予想通りに推移しておりますが、経常利益及び当期利益において、単体ではマーケティングコストが前回想定より少なかったこと等から、経常利益予想を90億円と前回予想比5億円、当期純利益予想を24億円と前回予想比4億円それぞれ上方に修正いたします。

連結では、単体要因に加え、連結子会社関係の増減要因を勘案し、連結経常利益を前回想定を、2億円上回る27億円に、連結当期純利益を前回想定比7億円改善の13億円にそれぞれ上方修正いたします。

以上

(注)

上記見通しに記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。従いまして、これら業績見通しのみで全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、以下のようなものが含まれます。当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、特に消費動向、放送法、通信法等の法制度における変化。特に当社グループの業務に対する規制または規制の提案が行われた場合や、競合する事業者が新規に事業算入する、などの場合。特にデジタル技術分野で顕著な急速な技術革新、また放送ビジネスで顕著な主観的で変わりやすい顧客嗜好、などを背景とする激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる番組やサービスを当社グループが開発し継続的に提供していく能力などです。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。